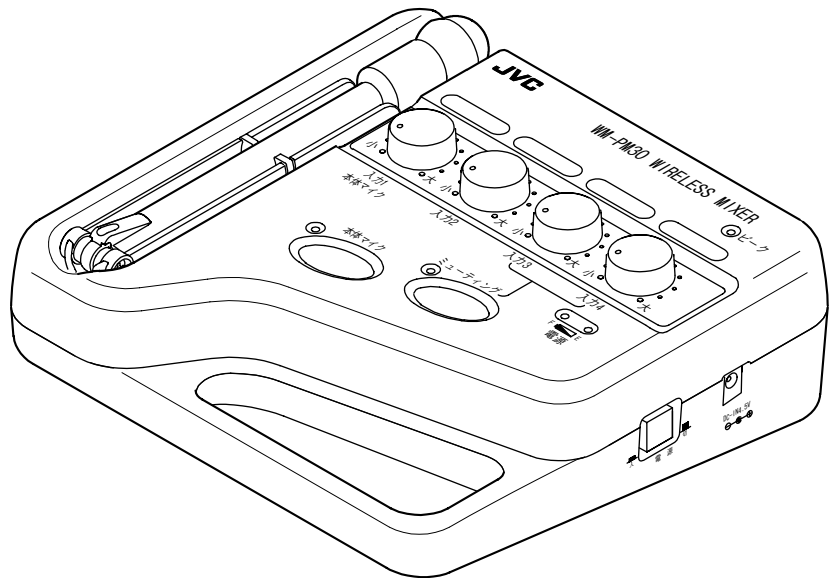


# JVC

## ワイヤレスミキサー

型名 **WM-PM30**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。  
ご使用前にこの「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」(4～6ページ)は必ずお読みいただき、安全にお使いください。  
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。  
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

## 特長

本機は、ミキシング機能付きワイヤレスマイクです。4 系統の入力を持ち、有線マイクや、ポータブル CD、MD などの音声をミキシングして送信することができます。

### 800 MHz 帯 B 型 PLL シンセサイザ方式を採用

30 波の周波数設定が可能です。

### 内蔵型アンテナを採用

アンテナ破損の心配がありません。

### AC 電源または乾電池での動作が可能

電源は、付属の AC アダプター、または単 3 形乾電池 (2 本の 2 電源方式) です。

※ 電池は、アルカリ乾電池をおすすめします。

### コンパクトに収納できる本体マイクを装備

本体のみで放送が可能です。

### 外部マイク入力 4 系統 (2 系統はライン入りに切り換え可) を装備

マイク放送や、ポータブル CD、MD プレーヤーなどの音声の再生ができます。

### ミュートスイッチを装備

入力 3、4 には「ミュートスイッチ」を装備。呼び出し放送などで一時的に BGM などの音量を下げたいときに便利です。

### 録音出力を装備

### 省電力設計


単 3 形アルカリ乾電池 2 本で約 15 時間使用できます。

## この取扱説明書の見かた

### ■本文中の記号の見かた

**ご注意** 操作上の注意が書かれています。

**メモ** 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

 参考ページや参照項目を示しています。

### ■本書の記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

---

# もくじ

---

## はじめに

特長	2
もくじ	3
安全上のご注意	4
正しくお使いいただくためのご注意	7
各部の名称とはたらき	8

---

## 準備

準備の流れ	10
グループ番号とチャンネル番号を設定する	10
乾電池を入れる	11
接続する	12

---

## 基本操作

使用例	13
操作のしかた	14
送信出力切換スイッチについて	15

---

## その他

こんなときは	16
保証とアフターサービス	17
仕様	18

# 安全上のご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

## 絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



### 注意

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

### 絵表示の説明

●注意（警告を含む）が必要なことを示す



一般的注意



感電注意



手をはさまれないよう注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



注意



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



接触禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示

●この「安全上のご注意」は、オーディオ、ビデオなど機器全般についての内容を記載していますので、お客様がお持ちの機器によっては、該当しない項目が含まれる場合があります。



## 警告

■万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因となります。

- ・煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- ・画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- ・内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・落としたり、キャビネットが破損したとき。
- ・電源コードが傷んだとき。（芯線の露出、断線など）

このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。

お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



■不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いた所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする原因となります。



■表示された電源電圧(交流 100V)以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



■この機器の裏ぶた、カバー、キャビネットは外したり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



## 警告

■ この機器の上に水の入ったもの(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



■ 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



■ 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・ 電源コードを加工しない。
- ・ 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・ 電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・ 電源コードを熱器具に近づけない。



■ 医療機器の近くで使用しない

電磁波で医療機器に影響を与えることがあります。本機の電源を必ず切ってください。



■ 電源取り扱いを誤ると、電池が液もれしたり、発熱や破裂して、火災、けがや周囲を汚す原因となりますので、次のことをお守りください。

- ・ 電子レンジや高圧容器に入れない。
- ・ 電池の使用、充電中、保管時に異臭を発したり、発熱したり、変色、変形その他、今までと異なることに気付いたら、機器からとり外し使用を中止する。
- ・ 万一、もれた液体が目に入ると、失明の恐れがあるので、こすらないですぐにきれいな水で十分洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。また、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に障害をおこすことがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。



■ 乾電池は充電しない

電池の液もれ、破裂により火災やけがの原因となります。



## 注意

■ 次のような場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多い所
- ・ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
- ・ 熱器具の近くなど
- ・ 直射日光が当たって温度が上がる所
- ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所



■ この器機の上に重い物を置かない

重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。



■ この器機の上に乗らない、ぶら下がらない  
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



■ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。



■ お手入れするときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



■ 電源プラグはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



■ むれた手で電源プラグを抜き差ししない  
感電の原因となることがあります。



■ 移動するときは、電源プラグや接続コード類を外す

接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



## 注意

### ■専用 AC アダプターを使う

指定以外のものを使用すると火災や感電の原因になることがあります。



### ■電池を機器内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚す原因となる場合があります。



## 正しくお使いいただくための ご注意

### 保管および使用場所

- 次のような場所に置かない  
誤動作や故障原因になります。
  - ・ 許容動作温度 (0℃～40℃) 範囲外の 暑いところや寒いところ
  - ・ 許容動作湿度 (30%～80%) 範囲外の湿気の多いところ
  - ・ 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
  - ・ トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
  - ・ ほこりや砂の多いところ
  - ・ 振動の激しいところ
  - ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
  - ・ 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

### 取り扱いについて

- 機器を重ねて使用しない  
お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したり、火災の原因となることがあります。
- 本機の上に物を置かない  
テレビモニターのような重いものや、本機からはみ出るような大きなものを置くとバランスが崩れて倒れたり、落ちたりしてケガの原因になることがあります。
- 本機の上に乗らない、ぶら下がらない  
倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。
- 本機の上に水の入ったもの(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない  
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- 内部に物を入れない  
通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

### お手入れについて

- 本機はやわらかい布でふいてください。  
シンナーやベンジンでふくと表面が溶けたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

### 移動について

- 移動するときは接続コード類を外す  
移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

### 省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

### 電源コードについて

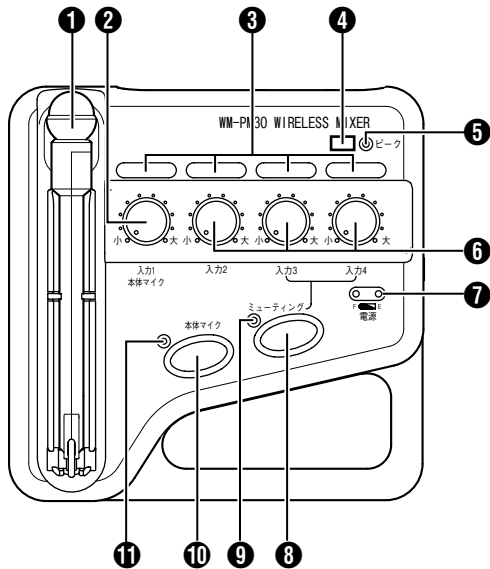
- 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしなさい。  
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

### 使用上のご注意について

- このワイヤレスミキサーは電波法に規定される技術基準適合証明品です。機器にその証明番号(証明ラベル)が貼ってあります。傷つけたりはがしたりしないでください。
- 分解や改造は法律で禁じられています。
- 床に落としたり、かたい物に当たったりしないでください。故障の原因となります。
- 夏の閉めきった車内のような温度の高い所や、湿度の高い所に置かないでください。故障の原因となります。
- 汗や海水のかかる所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 汚れたときは、乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤をしみこませた布で軽くふいてから、からぶきしてください。ベンジン、シンナー、化学ぞうきんは絶対に使用しないでください。
- ワイヤレスミキサーを使用している近くで携帯電話を使用しないでください。ノイズが入ることがあります。

## 各部の名称とはたらき

### 上面



#### ① 本体マイク

使用時はアームを起こして口元にマイクをセットします。

#### ② 本体マイク / 入力 1 音量調節つまみ

本体マイクまたは入力 1 に接続したマイクの音量を調節します。

※入力 1 にマイクが接続されているときは、入力 1 のみの音量調節となります。

#### ③ 入力表示シール貼付部

付属の入力表示シールを使用してください。

#### ④ チャンネルシール貼付部

付属のチャンネルシールを使用してください。

#### ⑤ ピーク表示灯

過大入力時に赤色に点灯します。点灯しないように、音量を調節してください。

#### ⑥ 入力 2、3、4 音量調節つまみ

それぞれの入力端子に接続した機器の音量を調節します。

#### ⑦ 電源表示灯 (バッテリーチェッカー)

- ・電源スイッチを ON にすると緑色灯が点灯します。
- ・乾電池使用時はバッテリーチェッカーとして働きます。  
(☞ 11 ページ)
- ・グループ・チャンネルの誤設定のときに点滅します。  
(☞ 10 ページ)

#### ⑧ ミューティング (音量ダウン) スイッチ

押すと入力 3、4 に接続された機器の音量が下がります。(減衰量 20 dB) もう一度押すと、元に戻ります。

#### ⑨ ミューティング表示灯

ミュートスイッチ ON 時にオレンジ色に点灯します。

#### ⑩ 本体マイクスイッチ

押すと本体マイクが ON になり、もう一度押すと OFF になります。

※入力 1 にマイクが接続されているときは、このスイッチは機能しません。(本体マイクは使用できません。)

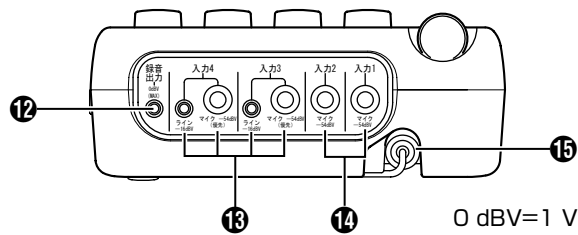
#### ⑪ 本体マイク表示灯

本体マイク ON 時にオレンジ色に点灯します。

※入力 1 にマイクが接続されているときは、本体マイクスイッチを押しても点灯しません。



## 後面



### 12 録音出力端子

MD、テープレコーダーなどを接続します。(最大 0 dBV、不平衡、ステレオミニジャック)

※接続にはステレオミニプラグをお使いください。モノラルミニプラグを接続するとレベルが低下します。

### 13 入力 3、4 端子

マイク:

有線マイクを接続します。

(- 54 dBV、2 kΩ、不平衡、フォンジャック)

ライン:

ポータブル CD プレーヤーなどを接続します。

(- 16 dBV、10 kΩ、不平衡、ステレオミニジャック)

※マイクとラインの両方に接続した場合は、マイクが優先になります。

### 14 マイク入力 1、2 端子

有線マイクを接続します。

(- 54 dBV、2 kΩ、不平衡、フォンジャック)

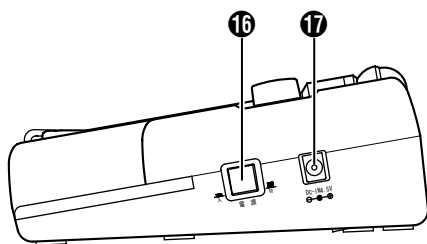
### 15 本体マイク入力端子

本体マイクのプラグが接続されています。

(- 46 dBV、600Ω、不平衡、ミニジャック)

※入力 1 にマイクが接続されているときは、本体マイクは使用できません。

## 側面



### 16 電源スイッチ

押す(▲)と電源が入り、もう一度押す(■)と電源が切れます。

### 17 電源入力コネクター

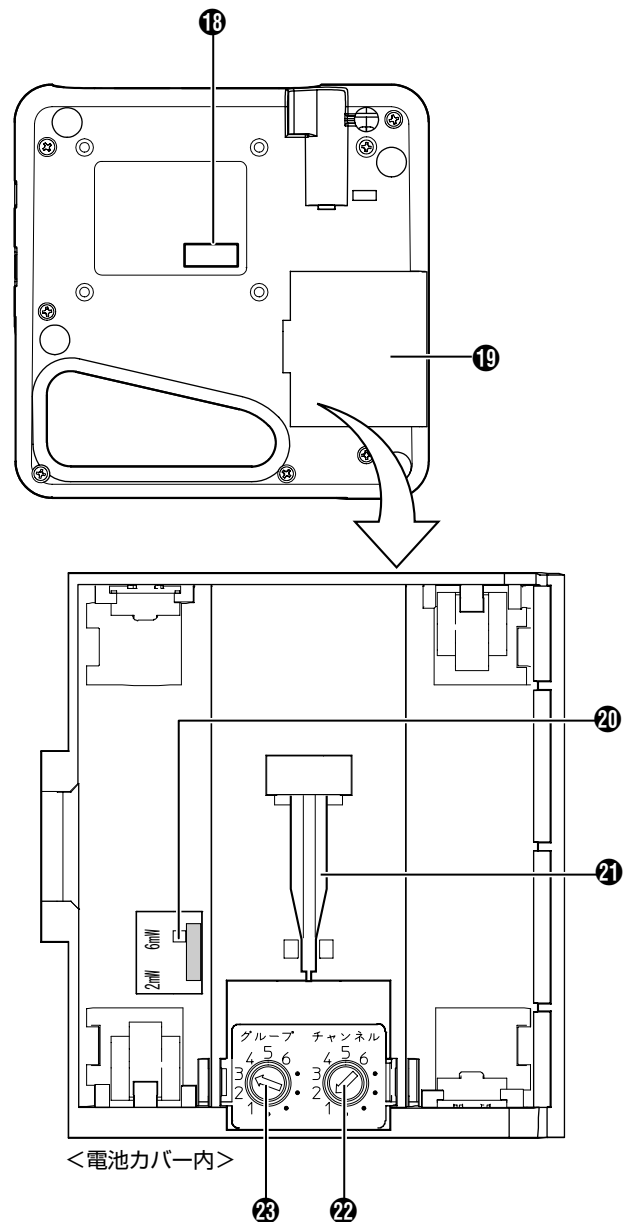
AC 電源で使用するときは、付属の AC アダプターを接続します。

※AC アダプターを接続すると、乾電池が入っていても、AC アダプターが優先になります。

### ご注意

- AC アダプターの接続をはずしたり、コンセントから抜いたりするときは、必ず電源スイッチを切ってください。電源スイッチを入れたまま行くと、雑音が出ることがあります。

## 底面



### 18 証明ラベル

電波法の技術基準適合証明ラベルです。傷つけたり、はがしたりしないでください。

### 19 電池カバー

### 20 送信出力切換スイッチ

(15 ページ)

### 21 設定用ドライバー

### 22 チャンネル設定スイッチ

(10 ページ)

### 23 グループ設定スイッチ

(10 ページ)

## 準備の流れ

**Step1** グループ番号とチャンネル番号を設定する  
🔗 10 ページ  
電池カバー内のスイッチでグループ番号・チャンネル番号を設定します。

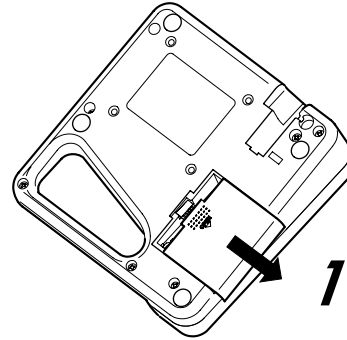
**Step2** 乾電池を入れる 🔗 11 ページ  
ご使用になる乾電池はアルカリ乾電池をおすすめします。

**Step3** 接続する 🔗 12 ページ  
MD、テープレコーダー、ポータブル CD プレーヤーなどを接続します。

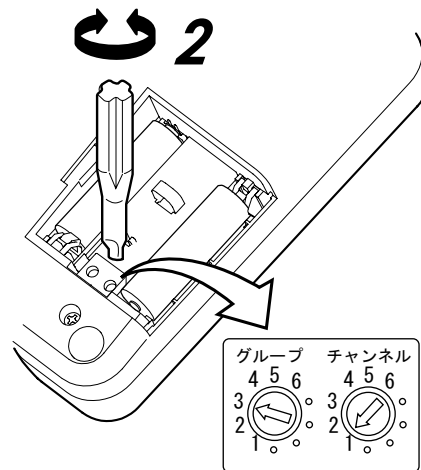
準備完了

## グループ番号とチャンネル番号を設定する

**1** 電源を切り、底面にある電池カバーをはずす。



**2** グループ設定スイッチおよびチャンネル設定スイッチの矢印を、設定したいグループ・チャンネル番号に、付属の設定用ドライバーで合わせる。



### ご注意

- 電源を入れたままグループ番号とチャンネル番号を設定しても送信周波数は変わりません。

**3** 電池カバーを元どおりに取り付ける。

### ご注意

- 「周波数表」にないグループ、チャンネルに設定しても送信できません。誤った設定や、確実な設定がされていない(番号と番号の間など)状態で電源を入れると、電源表示灯(緑色灯)が点滅\*して異常を知らせます。もう一度確認して設定し直してください。

\* 乾電池動作時は、そのときの電池の消耗状態を示す表示灯が点滅します。

■周波数表\* (下記以外の組み合わせでは使用できません)

スイッチの設定	最大同時使用波数						周波数 (MHz)
	6波						
	グループ						
	1	2	3	4	5	6	
11	B11						806.125
21		B21					806.250
12	B12						806.375
22		B22					806.500
31			B31				806.625
41				B41			806.750
32			B32				806.875
23		B23					807.000
13	B13						807.125
61						B61	807.250
33			B33				807.375
42				B42			807.500
51					B51		807.625
14	B14						807.750
24		B24					807.875
43				B43			808.000
52					B52		808.125
34			B34				808.250
53					B53		808.375
25		B25					808.500
35			B35				808.625
54					B54		808.750
26		B26					808.875
15	B15						809.000
44				B44			809.125
36			B36				809.250
45				B45			809.375
16	B16						809.500
55					B55		809.625
46				B46			809.750

※工場出荷時は B31 に設定されています。

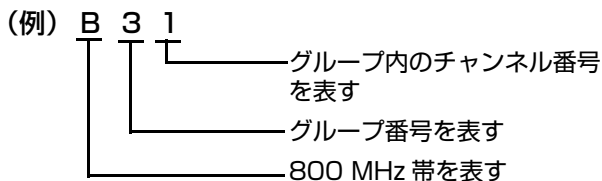
周波数の見かた

- 使用するグループを 1 ~ 6 から選び、同一グループの中から最大 6 波を選びます。
- スwitchの設定の項目にある 2 桁の数字は、左がグループ番号、右がチャンネル番号を表します。

ご注意

- グループ 1 ~ 4 は 6 チャンネルまで、グループ 5 は 5 チャンネルまで、グループ 6 は 1 チャンネルのみの設定となります。
- 本機とワイヤレスチューナーは必ず同じグループ、チャンネルに設定してください。設定が本機とチューナーで異なると受信しません。

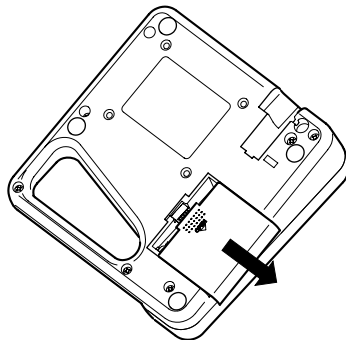
■800MHz 帯ワイヤレスマイクロホンのチャンネル呼称について



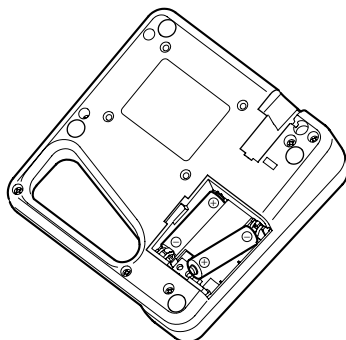
## 乾電池を入れる

電池はアルカリ電池をおすすめします。

1 電源を切り、底面にある電池カバーをはずす。



2 電池収納部の(+)と(-)の表示に合わせて、単 3 形乾電池(2 本)を入れる。



3 電池カバーを元どおりに取り付ける。

メモ

乾電池の交換時期

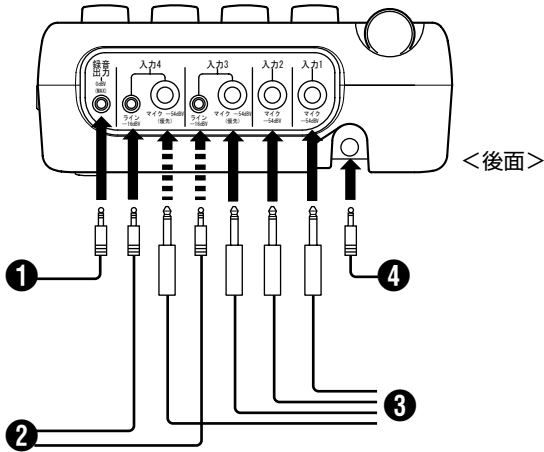
バッテリーチェッカーは、電池の消耗に伴い次第に緑色灯が薄くなり、赤色灯が点灯を始めます。赤色灯だけが点灯する状態になったら、新しい乾電池と交換してください。  
※ AC 電源で使用しているときは、常時緑色灯が点灯しています。

乾電池の使用時間の目安

乾電池の種類	連続使用時間
アルカリ乾電池	約 15 時間
マンガン乾電池	約 5 時間

## 接続する

### 各機器を接続する

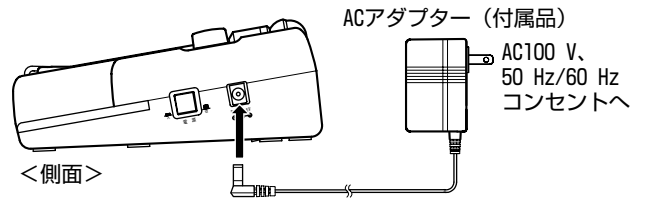


- ① MD、テープレコーダーなどの録音端子へ  
(ステレオミニプラグ)
- ② ポータブル CD プレーヤーなどへ  
(ステレオミニプラグ)
- ③ 有線マイクへ

#### ご注意

- 有線マイクのプラグは、必ず単頭(不平衡)フォンプラグ、またはプラグ内で不平衡接続した複式フォンプラグをご使用ください。複式(平衡)フォンプラグでは、入力  
の優先切り換えや拡声レベルが正しく動作しません。
  - 入力 3、4 は、マイクとラインの両方に接続した場合は、  
マイクが優先になります。
- ④ 本体マイクのプラグが接続されています。

### AC アダプターを接続する

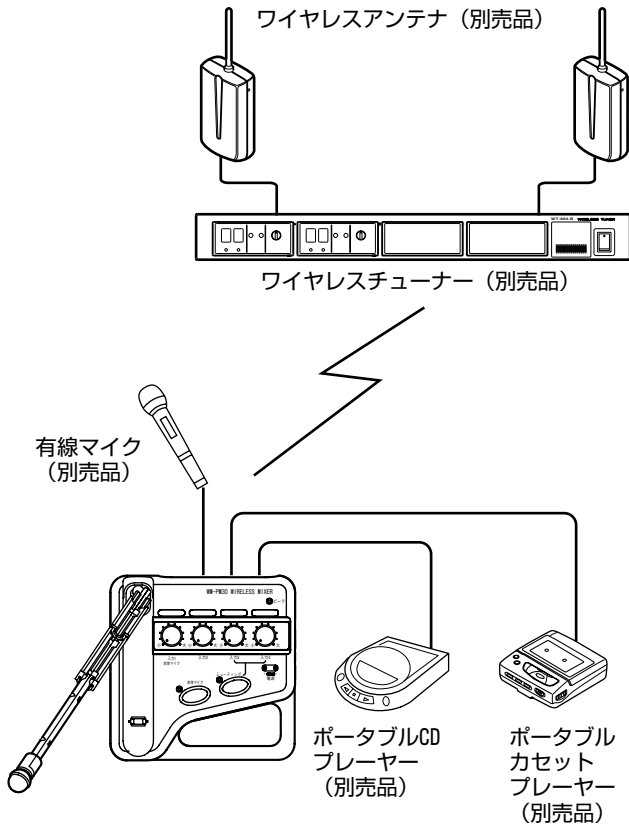


#### ご注意

- AC アダプターの接続を外したり、コンセントから抜いたりするときは、必ず電源スイッチを切ってください。電源スイッチを入れたまま行くと、雑音が出ることがあります。

## 使用例

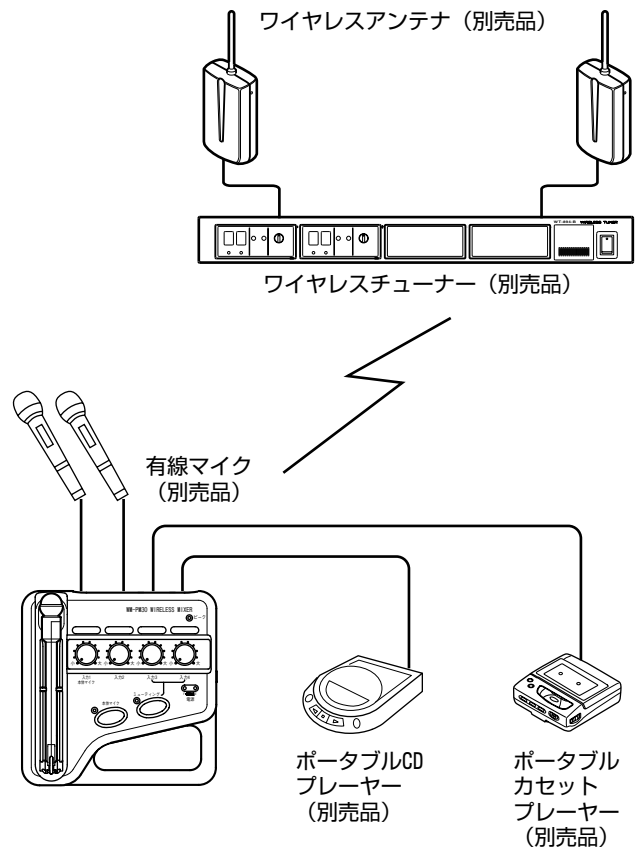
### 本体マイクを使用するとき



#### ご注意

- マイク入力 1 端子にマイクロホンが接続されているときは、本体マイクは使用できません。マイク入力 1 端子に何も入力されていないことを確認してからお使いください。

### 本体マイクを使用しないとき



### 上手な使いかた

#### ■ 本体マイクと口元の距離

マイク部は口元から 5 cm 程度離すようにすると、音の明瞭性が良くなります。

#### ■ 本機とワイヤレスマイクの距離

ワイヤレスマイクを使用するときは、本機とワイヤレスマイク間の距離を 50 cm 以上離して使用してください。近づけすぎると、混信したり、音が途切れたりすることがあります。

#### ■ 本機と受信アンテナの距離

本機と受信アンテナの距離は、3 m 以上(送信出力 2 mW 時は 2 m 以上)\* 離して使用してください。距離が近過ぎると、混信したり、誤動作したりすることがあります。やむをえず近づけて使用する場合は、ワイヤレスチューナーのアンテナアッテネーターを入れることをお勧めします。

\* アンテナの設置場所や同軸ケーブルの長さにより異なります。

## 操作のしかた

操作をする前に次のことを確認してください。

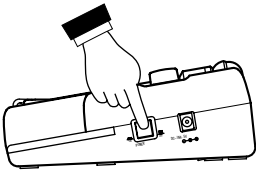
- 本機とワイヤレスチューナーのグループおよびチャンネルが同じ番号に設定されていることを確認してください。
- 付属の AC アダプターが本機と AC100 V コンセントに正しく接続されている、または単 3 形乾電池 (2 本) が正しく入っていることを確認してください。
- 各音量調節つまみは、最小の位置にあることを確認してください。
- 使用する機器 (有線マイク、ポータブル CD プレーヤーなど) を接続してください。

## 本体マイクから放送するとき

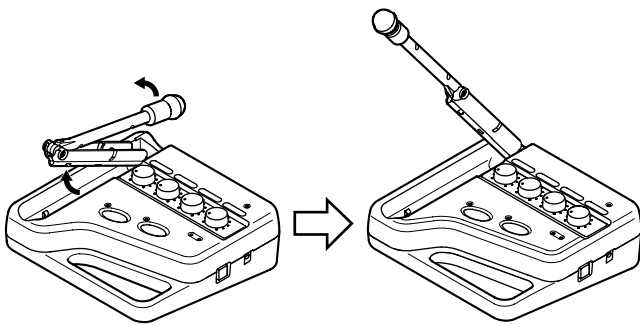
### ご注意

- マイク入力 1 端子にマイクロホンが接続されているときは、本体マイクは使用できません。マイク入力 1 端子に何も入力されていないことを確認してからお使いください。

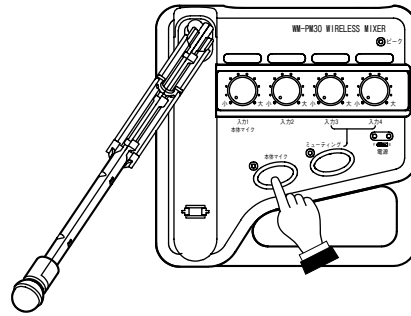
### 1 電源スイッチを入れる。



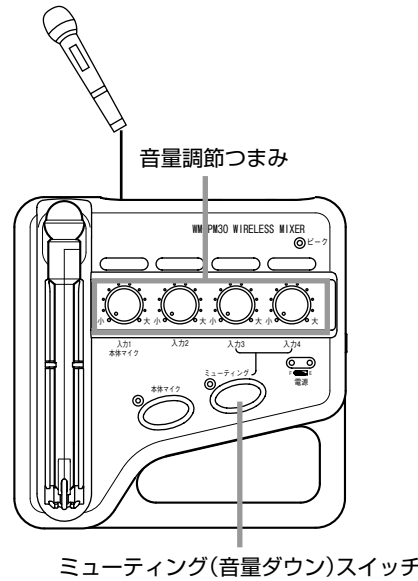
### 2 本体マイクのアームを起こしてマイクを口元にセットする。



### 3 本体マイクスイッチを押す。 本体マイク表示灯が点灯します。



### 4 本体マイク音量調節つまみを時計方向に回して適切な音量に調節する。



### 5 マイクに向かって話す。

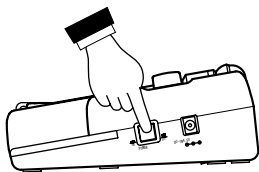
### 6 放送が終わったら本体マイク音量つまみを最小に戻す。

### 7 本体マイクスイッチを押してマイクを切る。 本体マイク表示灯が消灯します。

### 8 すべての放送が終わったら、電源スイッチを切る。 電源表示灯が約 1 秒後に消灯します。

## 本体マイク以外から放送するとき

1 電源スイッチを入れる。



2 各音量調節つまみを時計方向に回して適切な音量に調節する。

3 マイク放送をする。

4 放送が終わったら各音量調節つまみを最小に戻す。

5 すべての放送が終わったら、電源スイッチを切る。  
電源表示灯が約 1 秒後に消灯します。

## 便利な機能(ミュートスイッチの使いかた)

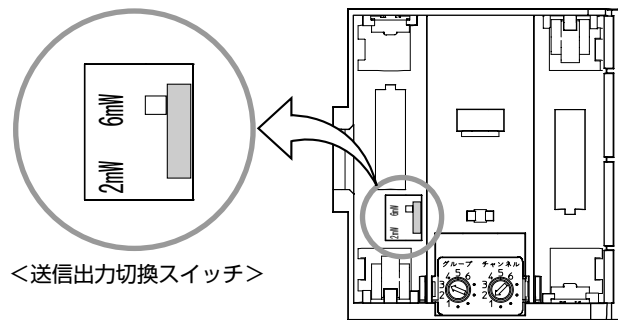
ミュートスイッチを押すと、入力 3、4 に接続された機器の音量が小さくなります。(減衰量 20 dB)

例えば入力 1、2 を使用してマイク放送をするとき、ミュートスイッチを押すことにより、入力 3、4 に接続している BGM などの音量を簡単に一定量減衰させることができます。

## 送信出力切換スイッチについて

送信出力は「6 mW」または「2 mW」に切り換えることができます。

アンテナまでの距離が近い場合や混信の恐れがある場合は「2 mW」に設定してください。工場出荷時は「6 mW」に設定されています。(P.13 ページ)



<送信出力切換スイッチ>

<本機底面の電池カバー内部>

## こんなときは

症 状	確かめるところ	対処のしかた
乾電池を使用のとき、電源スイッチを ON にしても電源表示灯(緑色灯、赤色灯とも)が点灯しない。	電池の極性は正しいですか？	電池を正しく入れ直してください。
	電池は消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
AC 電源で使用のとき、電源スイッチを ON にしても電源表示灯(緑色灯、赤色灯とも)が点灯しない。	AC アダプターのコネクタが抜けていませんか？	AC アダプターのコネクタをしっかりと差し込んでください。
乾電池を使用のとき、電源スイッチを ON にすると電源表示灯の赤色灯が点灯する。	電池が消耗しています。	新しい電池と交換してください。
電源スイッチを ON にすると電源表示灯が点滅する。(そのときの電池の消耗状態を示す表示灯が点滅します。)	周波数表にないグループ、チャンネルに設定されていませんか？	「周波数表」を見て、グループ、チャンネルを設定し直してください。
	設定スイッチの矢印が番号と番号の間で止まっていますか？	設定スイッチの矢印を設定番号に合わせてください。
電源スイッチを ON にしてもワイヤレスチューナーの受信表示灯が点灯しない。(受信しない。)	本機とワイヤレスチューナーは同じグループ、チャンネルに設定されていますか？	本機とワイヤレスチューナーを同じグループ、チャンネルに設定し直してください。
同時に使用している他のワイヤレスマイクと混信する。	他のワイヤレスマイクとグループは同じ番号に、チャンネルは異なる番号に設定されていますか？	「周波数表」を見て、グループ、チャンネルを設定し直してください。
	本機と他のワイヤレスマイクの距離が近づき過ぎていませんか？	本機と他のワイヤレスマイクの間隔は 50 cm 以上離して使用してください。
	本機が受信アンテナに近づき過ぎていませんか？	本機は受信アンテナから 3 m 以上 (6 mW 時) または 2 m 以上 (2 mW 時) 離して使用してください。
本体マイクから音が出ない。	マイク入力 1 にマイクが接続されていませんか？	マイク入力 1 に接続しているプラグを抜いてください。
	本体マイクのプラグが抜けていませんか？	プラグを確実に差し込んでください。
本体マイクスイッチを押しても本体マイク表示灯が点灯しない。	マイク入力 1 にマイクが接続されていませんか？	マイク入力 1 に接続しているプラグを抜いてください。



## 保証とアフターサービス

## 商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

### 保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

### 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

### サービス窓口

- ・下記 URL をご覧ください。  
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- ・カスタマーサポートセンター(045-939-7320)

### サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

### 修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に必要なことをお知らせください。

品名	:ワイヤレスミキサー
型名	:WM-PM30
お買い上げ日	:
故障の状況	:故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

## 仕様

電源	: AC100 V、50 Hz/60 Hz (DC4.5 V、AC アダプター) DC3 V(単 3 形乾電池 × 2)、2 電源方式
消費電流	: 100 mA(AC アダプター／乾電池使用時)
無線局の種類	: 特定小電力無線局ラジオマイク用無線設備
電波形式	: F3E
発振方式	: 水晶制御 PLL シンセサイザー方式
送信周波数	: 806.125 MHz ~ 809.750 MHz (125 kHz 間隔の 30 波)
送信出力	: 6 mW/2 mW
総合周波数特性	: マイク: 150 Hz ~ 12,000 Hz ± 3 dB ライン: 80 Hz ~ 12,000 Hz ± 3 dB
プリエンファシス	: 50 μs
入力等価雑音	: 43 dB SPL 以下(A カーブ)
変調感度	: ± 5 kHz マイク: - 74 dB* ライン: - 40 dB*、1 kHz、音量 VR 最大
最大入力音圧	: 110 dB SPL (音量ボリューム最大、± 40 kHz 偏移時) 120 dB SPL (音量ボリューム 7 目盛り、± 40 kHz 偏移時)
入力	: マイク:(1 ~ 4) - 54 dB*、2 kΩ、不平衡、 フォンジャック(入力 1 ~ 4) ライン:(3、4) - 16 dB*、10 k Ω、不平衡、 ステレオミニジャック(L + R モノラル、 入力 3、4 切り換え) 本体マイク(切換式): - 46 dB*、600 Ω、不平衡、 ミニジャック(入力 1 切り換え) ※定格入力レベルは音量ボリューム最大、 入力音圧 94 dB SPL とする入力レベル
録音出力	: 0 dB* 最大、不平衡、 ステレオミニジャック(L + R モノラル)
本体マイク	: 単一指向性コンデンサーマイクロホン
付帯機能	: 折りたたみ収納式本体マイク (入力 1 外部マイク接続時は使用不可) 本体マイクスイッチ (本体マイクに対し有効) ミュートスイッチ: 減衰量 20 dB (入力 3、入力 4 に対し有効)
表示	: 電源・バッテリー残量、入力オーバー表示、 本体マイク表示
電池持続時間	: 約 15 時間(アルカリ乾電池)、 約 5 時間(マンガン乾電池)
アンテナ	: 内蔵型

使用温度範囲	: 0 °C ~ 40 °C
仕上げ	: 上ケース: ABS 樹脂、グレイシュブルー 下ケース: ABS 樹脂、ライトグレー 本体マイク: ポリアセタール樹脂、ライトグレー
寸法	: 166 mm × 66 mm × 166 mm (幅 × 高さ × 奥行) ※マイク収納時、突起部含む
質量	: 540 g
添付物・付属品	: 取扱説明書(本書) × 1 保証書 × 1 AC アダプター × 1 チャンネルシール × 1 入力表示シール × 1 設定用ドライバー × 1 (本体電池カバー内部にあります)

\* 0 dB = 1 V

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。



JVCケンウッド  
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12